

## 【バフェットから学ぶ「ガチホ(長期保有)の哲学」】

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！！

さて、私は今日はマレーシアで深夜から前メルマガで扱っていた吉田さんの MINE 買っていました。

もう人が集まりすぎてサーバーつながらないからパソコン複数台つけて、クリック連打してましたがなんとか買えてよかったです。

それで最近思うのは投資ってやっぱり学べば学ぶほど、面白すぎるなど。

ちなみに読者さんからも定期的にメールもらって最初はやっぱりみんなダメなんだけど、稼げるようになりました、とか来ると本当に私も嬉しいですね。

それで・・・最近バフェット分析を書きまくってるんだけど特に「ICO 投資」でバフェットの考え方はとにかく役立つはずなので今日ももっと書いていきます。

読者さん、バフェットから学んで

お互い切磋琢磨して幸せな金持ちになりましょう！

## 【バフェットから学ぶ「ガチホ(長期保有)の哲学」】

さてさて、ここ最近バフェットの分析というかバフェットの投資思想をよく書いているのだけど

なかなか好評でして、一部の読者さんから

もっと勉強したい、ということなので

もっと書きます。

ちなみにバフェットはですね、暗号通貨はダメだ、

と言ってるのはご存知だと思うんですけど

私なんかは例えば今日は MINE 買ってましたし、

やっぱり暗号通貨市場は調べれば調べるほど、勉強すればするほど

5年10年先には普通に昔の IT みたく、人類の経済生活ではなくてはならない機能を果たすとは思ってますよね。

ただそのためには一度形成されたバブルは崩壊しないと

本当の実需の成長に支えられた成長というのはITバブル崩壊後のIT株のように訪れないと思うので、

今暗号通貨が崩れてるのはまあ長い目の成長サイクルでは重要なことなんだろうと思ってってます。

12月までの日足で見ても5日移動平均線もさらに上抜けるような動きはバブルそのものであったから、

一度崩れて、その後長く停滞して、ようやく成長、という流れが理想的かなと思ってます。

大体5年、10年の長期スパンでそれが大きくなればいい、と考えてますよね。

それで私なんかが見ているのが、やはり資本主義の必然として人類が何か新しい革命的な発明なりをしたらですね、やっぱりそれを使うようになるわけですよ。

これは昔なら鉄砲もそうだし、

近代なら核技術なんかもそうで、核なんかはまさに今北朝鮮の問題でフォーカスされているけど

その核の実験として使われたのが私たち日本人の祖先の

広島長崎の方々であって、

どうしても何か新技術ができれば人間というか人類は  
使わないと気がすまないというのが歴史の教訓なのかなと  
私は思います。

それで近年だとITですよ。あのITなんかもITで全ての仕事が  
置き換えられるわけない、なんて言論も1990年代は  
結構目にしたものだけど、

今や人類はITなしでは生きられない時代に入ってきておりまして  
やはり新技術が出てきて、そこに世界中の知能が集まると  
それは具現化されてくるというのが人類のやってきたことだから

やはり10年経過したらかなり暗号通貨での決済だとか  
あとはイーサリアムのスマートコントラクトを使った  
簡単な不動産決済とかですね、

そういうのは普通になってくると思います。

その辺が早い業界だと、例えばネットビジネスなんかは  
最近では支払い報酬が暗号通貨での支払いになってきているところも  
あるし、

こういう暗号通貨の利便性が使われる未来ってのは  
まあ進んじゃうんだろうな、と思います。

ちなみに IT 株でいうとマイクロソフト株ってのは  
1990年代なんかは0.3ドル前後ですが、  
今の2018年は94ドルで300倍になっているわけですし、  
暗号通貨なんかも10年、20年経過したら化けるものが  
結構あるんじゃないかな～と思いますよね。

ただおそらく100人いたら99人は5年とか10年って  
保有できないものなんですね。

誰かすごいトレーダーが「暴落する」とでも言えば売ってしまうのが  
人間の性だし、

これをずっと何年間も保持するってのは難しいわけです。

ちなみに ADA コインなんかは数百倍になっているけど  
それも2年近くかかっていますが

実は ADA コインなんかもですね、「ちくしょ～～」って思ってる人たちは  
いるはずで、

ADA コインは詐欺だ、ダメだ、と色々な権威が言っていたころ、

そこで掲示板なりネットを信じた人たちが返金騒動をしたはずなんですね。

そこで返金された人は・・・資産が数百倍になったはずなのに

返金されて全く変わらず、な人生になったわけです。

ただこの人たちがおかしい人か？というとそうでもなくて

当時は確かに ADA がすごい言われていたし、私もどっちが本当だろう、

とわからないで様子見ていたけど

最終的には詐欺といわれていたけど海外で量子耐性があったりで

技術が評価されて上がったと。

だからここで以前書いたけどその株なり通貨なりの技術や思想や理念を見て

そこに投資していく、という考え方は大事なのかな、と思います。

ただビジョンが明確でも形にできそうにもないものもあるので

そこはフィルターかけていく必要がありますけど。

それで暗号通貨なんかも5年間ずっとホールドできればかなり

成功可能性は上がると私は見えています

(株と同じく絶対価値の金融商品に近いから)

ここで「ホールドの神様」がやはりバフェットですので

バフェットについて学ぶのは大事だなと、思います。

=====編集後記2=====

それでバフェットの投資スタイルというのは良く知られているのだけど  
まず「企業の株価が本来あるべき価値よりも下がった時に買って、  
そしてそれを長期で持っていく長期投資」

なわけですね。

それで暗号通貨なんかも一緒だと思うけど

株式投資をする際に多くの投資家は株価に注目してしまいます。

株価が上がるか下がるか、それに対して「一喜一憂」してしまうと。

ちなみに「投機と投資の違い」は結構あるんだけど

基本的にバフェットなんかの言論見ていると

バフェットは投機は金儲け目的の気持ちが強くてレバレッジ取引をして

そこで短期投資することを投機と言ってるような感じがありますね。

一方彼にとっての投資というのは最初に企業を応援しようみたいな

部分が強くて、そこで当然応援するのだから原則 投機で重要な損きりとかは

しないのだけど

だからレバレッジは利かせず、あくまでも現物で買って

それをずーっと死ぬまで持つくらいの感じで長期保有する

ことなのかなと思います。

この投資と投機の違いは？というのは結構色々議論があるのだけど

バフェットは投機は短期保有、投資は長期保有(一生手放さない)

くらいの感じで考えてる節はありますよね。

あとはレバレッジのあるなし、でしょうか。

ただバフェットはそういう明確な線引きをしているわけじゃなくて

やはり思想的な部分で「この企業を応援していこう」みたいな

そういう部分を重視してそれを投資と判断してるのかな

というのは私がバフェットの本を見て感じたことですね。

ちなみにこの投機と投資の違いは何かっていうのが

感覚的に分かってくると、おそらくお金ってのは必然的に

増えてくるな、というのが私が経験的にわかってることです。

それで投資をしている人の場合、多くの投資家は株価の

上下に一喜一憂するんだけど



例えば分かりやすいのが最近だとノアコインかなと。

「ノアコインが5倍になったぞ、やった！！」という人と、

「ノアコインってのはこれからフィリピンで

リゾートや有機栽培や色々やってるからこの調子で

頑張ってくださいね」

みたいな人

がいるはずなんだけど

前者は儲けを先行した思考方法をとってるのに対して

後者はどっちかというと資本主義で資金を投下して

社会の経済が発展することを求めているわけで

その後にカネがついてこればラッキーくらいに考えてるわけで

おそらく前者が投機思考で、後者が投資思考なんだろうと

色々本を読んだ上でも思います。

それで実際に株なんかだと後者の思考だと

検証して私は体でそれを理解してるけど

利益がついてくるんですよね。

ちなみに私は投機は否定してなくてFXとかもろにやっていますから、  
たとえばドル円売りで2ヶ月前から入れています

これは別に円を応援したいという気持ちはあんまり  
というか全然ないわけです。

それは母国日本の通貨が上がってくれば嬉しいですが  
もしチャート計上で上に上がりそうな時がこれば  
決済するし、かなりある意味薄情ですよ。

FXの場合は投機と割り切っていて儲けしか見ていないわけです。

ただ株式投資とか暗号通貨投資は少しそこにメッセージ性とか  
理念とか社会起業家的な人たちが入ってきてるから

それは儲けよりも「このお金使って頑張ってね」  
という応援の意味もあったりするわけですね。

この辺のスタンスを私はだから金融商品で結構分けてまして  
FXはレバレッジ利かせてる投資だから絶対に損きり2%以内に  
するけど、だから損きりはバンバンしますが、

株とかICOは最初にフィルターは相当強くするけど  
その後余裕資金入れて、一生添い遂げる覚悟、  
悪く言えばほったらかしです。

これはFXが相対価値の金融商品であり  
(ドルと円の比率で価格が決まる)

株とか暗号通貨は比較的絶対価値の金融商品でありまして

特に株なんかの場合は有限責任なのだけど

下は限定されてるけど上は限定されていませんから

少し資金管理アプローチは変わるってことです。

だから短期的におこづかい稼げる投機なのか

長期で数十億円、数百億円と複利効かせて

大きくしていく投資なのか、

で全然アプローチは変わったりするわけですね。

だから投機と投資の性質を理解するのは複数金融商品を

やるためには何気に大事。

それで、バフェットがやってるのは「投資」なのだけど

バフェットは株価の上下は気にしないわけです。

なぜか？

これは彼の名言があるんだけど

「買うのは企業であって、株ではない」

というのがあるんです。

すなわちその企業の価値やこれからのやること、思想、

資本主義経済の中の役割とかですね、

そういうところを重視してお金を貸している、

という感覚なんだと思います。

だから彼は企業の価値を買ってるので、

そこで株価が上下することにはあまりこだわらない

わけですね。

本来株式投資とは企業の一部を買うことで

企業の部分的なオーナーになることでありまして、

そこで例えば少なくとも一応議決権なんかは持てるわけです。

だからバフェットなんかは、

企業を買ってるのであって、株を買ってるのではない

ということは言うわけでした

これはなかなか深い名言なんですね。

ちなみにもっと言いますと、株なんかははっきりいうと

「合法的金貸し」なんです。

企業が沢山頑張ってくれて稼いでくれるわけだけど

その一部がインカムゲインの配当金だったり

あとは値上がりのキャピタルゲインに

なるわけだけど

結局カネ貸して、その企業が稼いでくれて

そのぶん、ずっと持っておけば配当なり

お金が入り続けるわけで

それってよくよく考えれば実は金貸しなんですね。

だから企業にカネを貸しているのが株式投資と

私は考えてるけど、

こう考えると株価の上下には一喜一憂しないんですね。

それで株ってのはまあある種、ずる賢いシステムで

株主は徹底的に保護されてるわけです。

だから、例えばその企業が負債を銀行に対して

100億円背負ったとしたら、

株主も倒産したらその100億円払わないといけないか？

という違って、その責任は出資金に限定されるわけです。

これを株主の有限責任、という。

バフェットはさすがにここまで発言しないんだけど

バフェットの投資は実は株主の有限責任を元にしたものであって

要するに資金管理として3%のリスクを投じたとして

100万円なら3万円の株を買う。(企業にカネ貸す)

そして3万円の株の企業が倒産したとして、じゃあそこで

株主は「この企業が100億円借金したからあんたも株主だから

払え」となるか？というならないんですね。

これは各国の商法でそれらが決まってるんです。

そんなだったら誰も投資しませんから。

だから株主の有限責任ってのがどの国にもあるんだけども、

そこで株主の損失は投資金だけに限定されてる

っていうとんでもなく株主に有利なルールが敷かれてるのが

資本主義を取り入れてる国の経済なんです。

だから例えば上の例だと3万円の損失だけで

リスクは限定されてるのに、

リターンは時間をかければかけるほど、資本主義が  
崩壊しない限りは

その当時の取得価格より離れて乖離していく性質があるんですね。

それでそれが下に離れれば倒産なんだけど、  
けども有限責任で投資金以上は損失こうむらない。

一方、上に乖離していけばその投資金の数十倍、数百倍に  
なるわけで、

バフェットの投資ってのは実は本人も言わないけど

私は本を読み込んで分かったけどこの

資本主義の株主の有限責任という構造をフルに使ったものなんです。

だから彼は利益確定を早めてしまうと乖離があまり  
進まないで(実際に2倍くらいでしか売れなくなってしまうから)

だから長期保有しているっていうのも分かってくるんですね。

それで長期保有のために哲学を持っておく必要があつて

それが上記の

「買うのは企業であつて、株ではない」

というものです。

それでバフェットの場合はバリュー投資といわれるけど  
すなわち、割り安の株投資ですね。

彼が株式を買うかどうか判断するときには企業の  
価値＝バリューに重きを置くわけです。

そして企業の事業内容と業績を数値化してみたときに  
明らかに市場で評価されているより株価が安いときに  
投資を行うんですね。

そしてその株価が適切に評価されるまで待つわけです。

ただここで重要なのは「数値」だけを見てるわけではなくて  
企業のビジネススタイルが継続的に利益出せるかどうか  
彼は見るんですね。

ただこれを聞いてじゃあ多くの人ができるか？  
というとできません。

赤ちゃんなんかはそうだけ待つということが  
できませんよね？



実は大人になっても人間は赤ちゃんと大差なくて  
待つことはできないわけです。

だから分かりやすいのがビットコインで  
あれなんかは12月くらいに230万円前後つけて、  
そこで落ちるのを待って買うなんて人は  
ほとんどいなかったわけで

「大多数が飛び乗った」わけですね。

ちなみに私は「飛び乗りはNG」と当時書いていたんだけど  
それでも飛び乗る人は多かったらしい。

だからまず「安いところで買う」ってことが  
なかなか人にはできないところでして、

バフェットはそういう意味で大衆と間逆の投資をしてる  
わけです。

それでなんとか良いタイミングで、例えば  
価値があるのに暴落している株を買えたとしても、

そこでその会社を良い会社として持ち続けるってことは  
難しい。

たとえば100万円投資してそれが200万円になれば  
みんなそれを売ってしまうわけですね。

実はこの経験をバフェットは幼い頃に  
株式投資したときに経験していて

最初取得した株が数十%上がったからといって  
売ってしまった。

けどその株はその後何倍にもなったんですね。

ここで彼は「ああ、すぐに売るといのはよくなくて  
利益が出てもずっとホールド、保有していくというのが  
大事なのだ」

と理解したわけですね。

そこで人間というのは弱いですから、やはりそこで  
「株(の儲けじゃなく)て 企業を買う」という  
思想が出てくるんだと私は分析します。

すなわち思想に支えられていないと、そういう投資行動の  
持続性を得られないんです。

思想というのが幹で太ければ例えば周りが

「あの会社は倒産する」と言ってきたも  
耐えられます、余裕です。

けど思想が弱いと、「え、そうなのかな、  
あの偉い人はそういってるし、売っちゃおうかな」  
となるわけです。

バフェットの特徴として「公開文書をとにかく読みまくる」  
というのがあります。

これは以前書きました。

なぜそんなことをするのだろう??と私はすごい考えたのだけど  
それは本にも書いていなかったんだけど

私はまた脳科学のことを考えていて  
すなわち「その企業に対しての調査なりの時間をかけると  
その企業に対する愛着、応援しようという思想、  
その企業が価値をどうこれからも創出していこうとするか」  
ってのがおそらく脳内で明確になるんですよ。  
バフェットはおそらく、それをしている。

それで未来を脳内で「創造」するためには  
抽象思考が必要で読書って必要なんですね。

だからバフェットは読書家です。

だからバフェットの考え方というのはとても大事で

彼は安易ににんじんのようにぶら下がってる短期的な利益に  
飛びつかないし、

彼は企業の中身、企業の生涯価値を見て、短期的な  
株価の動きに惑わされないし、

また本来の価値よりも安い株価になってるときに買うのを  
徹底するし、

そのために彼は資産実際はパークシャーも合わせると  
60兆円あるんだけど、個人資産では10兆円くらいだけど

それでも、質素に生活してるんですね。

欲望、に脳みそやられるとこれらの上のことが  
できなくなっちゃいますから。

それで彼が重要視していることがあってそれが  
「自分の頭で考える」ってことです。

要するに周りがどうこう言おうとかそういうもので

振り回されないで、自分の分析だったり哲学を  
重視して、前に進む強さですよ、

それが彼のすごいところなんだと私は思います。

それで彼の有名な言葉をもっと上げるけど

彼が言うのは

「最高のタイミングで買えた株式は、一生手放す必要は無い」

ってことです。

そしてこの考え方は、ICOの暗号通貨でもおそらく

通用するはずなんです。

それで、バフェットの銘柄選定の基準としては

結構いくつかあるんだけど

有名なのは

「悪材料の出た優良銘柄をとにかく安く買って仕込む」

ってのがあります。

要するに分かりやすく言うと新聞なんかで

「この企業はダメだ！もう倒産しそうだ！」

みたいな企業ですよ。

けど実際に見てみたら、その企業のサービスは健在で  
ブランドも生きている、これから価値創出できるじゃないか

って企業は結構あるんですよ。

だから短期的な取引をしている投機をしている人たちが  
大きく売り込んでパニック売りを起こして必要以上に  
売り込まれてる銘柄、

これがあるとバフェットはそこで暴落している最中に  
買ってるんですね。

だから投資の格言である「落ちてるナイフはつかむな」  
というのがあ

実はバフェットは「落ちてるナイフを積極的につかみに行く」  
スタイルであるとも言えます。

ちなみに私ゆうはこのバフェットの名言とかを  
書籍で結構勉強して、

それで実際にですね、人柱で同じことを

以前、やったわけだけど

だからみんな売ってる、誰も買わない株をですね、

いくつか、買ったんです。

チャートの計上はだから「急激な右肩下がり」ですよ。

ちなみに私の場合、チャート分析もできるからそこは

少し違う買い方するけど

下落のトレンドラインゾーンを日足なり週足なりつき足で

上抜けするんです。

そこで一度戻ってまたそのトレンドラインゾーンが

今までレジスタンスだったけどサポートに変わって

また上がり始める瞬間ってあって、

ここで優良企業を買う、ということを何社かしましたが

これは今のところ、勝率は全勝でした。

だから、バフェット投資は私はすごい参考にして

取り入れてるけど、本当にちゃんと資金管理さえできてれば

有効なんですね。

要するに「大衆の逆をやるのが正義」です。

言い方変えれば「みんなと一緒に悪」ですね。

「みんなと一緒に悪」っていうのはよくメルマガに書くけど

これは株式投資でも実は同じなんだということです。

資本主義では希少価値作った人間にお金が入ってくる仕組みだから

だからバフェットなんかは買い付けの点でも

希少価値を作ってると言えますよね。

あとはバフェットの特徴としては消費者独占型の

「自分が分かる企業」しか買わないってことです。

だからバフェットが以前 IT 株を全然やらなかったというのは

IT のことが良くわからないから、そこはやる必要がない

という判断だったわけだけど、

分かりやすく言うと

「自分の分からないものにはカネ出さない」です。

ちなみに私はこれも真似していて、株なんかは

自分が普段行く店ってのがいくつかあって

そこで店の中でその店の株情報を見るんですよ。



だから外食の時は実は株式を仕込むための調査も

入ってるのだけどそこで集客だったり接客の調子だったり

顧客満足度 CS がどれほどのものだろう、

このお店の強み、独自性はなんだろう、とか

色々な面で調査もします。

あとは

集客で待ち時間が発生してるかどうか、とかも結構見ますね。

店内がらがら率が高い企業はやっぱり弱いです。

けど店内がやたらいつも混んでいて満員御礼なのに

株価が安い飲食店企業て実は結構あるんですよ。

これはチャートの ROE とか ROI とか PER PBR とか

ろうそく足見てるだけでは分からない情報だけど

自分で見るってのも大事ですね。

それでその企業が安くなるまで待つので

数ヶ月取得できるまでにかかるんだけどそれで買うと

やっぱし上がりますね。

それでバフェット銘柄として有名なのがコカコーラ、です。

バフェットなんかは消費者独占企業を選ぶ基準は

色々あるけど EPS が増加しているとか

多額の負債を抱えていない、

ROE は高いかなとか色々あるんだけど

彼のコカコーラなんかを買い付けた理由は参考になると

思います。

ちなみにバフェットが仕込んだ時と今のコカコーラ株は

もう10000万倍以上になっているといわれてるけど

バフェットがそれを仕込んだ時にはすでにコカコーラって

結構有名だったんだそうです。

もう既にそのブランド力が他者の追従を許さないレベルだったと。

そして圧倒的なブランド力を持っていて消費者独占企業

だったんだけど

それは時間の経過とともにマーケットシェアを高める

---

んですね。

(上の時間の経過とともに取得株価からその会社の株価が

乖離する、というチャート現象につながってきます)

そしてマーケットシェアが高まってきて、ブランド認知が進めば進むほど、利益率が高まるという理想的な状態になっていくわけだけど

それこそコココーラなんていったらもう世界中で飲まれているし、

マクドナルドなんかはオレンジジュースと一緒にメニューに組み込まれてますよね。

けどオレンジジュースは色々なブランドあるけどコココーラはコココーラがまああってペプシくらいです。(ちなみにSpriteがある、ミニッツメイドがある、ファンタがあるじゃないか、という反論あるかもだけどそれらは実はコココーラが展開してますよ)

それでコココーラの ROE (株主資本利益率) は 20%~30%を継続してまして、通常15%以上なら買いなはずだけどコココーラはそれをうわまっていた。

それでバフェットは当時、その成長が持続するというところにいち早く目をつけまして、そこで成功してるのです。

バフェットがコカコーラ株を購入した時はすでにコカコーラってのは知名度は世界的にも高い大企業であったのだけど

その中でバフェットはコカコーラの成長に目をつけ買ってるんですね。

それで、彼の場合とはとにかく一生添い遂げるつもりで株を買って、もうコカコーラはバフェットは何十年も持ってるわけだけど

それは既に1万倍を超えてしまったと。

だから、この辺の彼の買い方は参考になりますよね。

それでここで重要なのは既にコカコーラというのはバフェットが仕込んだ時は、知名度が高い状態であったわけで世界的な大企業になっていたわけです。

なのでバフェットの仕込みが決して早かったわけでもない  
~~~~~  
のですね。

ここでバフェットの仕込みは参考になる部分はあるけどそれ以上に重要なのが「40年以上長期保有したのが

おそらくバフェットだけであった」

ということです。

というのは株式は当時コカコーラは公開されていたし、  
だから多くの人がコカコーラ株を買っていたはずなのです。

しかしみんな途中でそれを手放しているわけでした  
バフェットみたいに数万倍にしてる人ってのは  
あまりいないのだと思います。

それくらい長期で数十年で保有するガチホってのは  
~~~~~  
人間にとって難易度が高い、ということでもあるんですね。  
~~~~~

バフェット分析としてコカコーラ株はよく本にも出てくるんだけど  
そこではバフェットの仕込みとかが注目されるけど

一番重要なのはやはりこの「長期保有する姿勢」なんだろう  
と私は思ったわけです。

「大多数はそれを1年ともてない中、  
バフェットはそれを40年にわたって持ち続けた」

というこの握力のすごさなんですよ。

要するにバフェットと同価格でエントリーしている人は

沢山いたのに

それをずっと持ち続けた人はバフェットだけだったわけですが

なぜこれを彼ができたのか？という

「株じゃなくて会社を買う」という思想だったからなんだろう

と思いますよね。

儲けは大事だけどそれを最前線の価値観に置かないで

それよりは当時アメリカはまだまだこれからという中で

資本主義を発展させていき、世界一の経済大国になるわけだけど

その未来像とか、そういうものもバフェットは脳内に

しっかりイメージが描けていたのだらうとも思います。

彼は読書家であるから、世界がこれからどうなって

アメリカがどれだけ成長するか、ってのが当時分かっていた

っていうのも大きいと思いますよね。

そこで中間層なりが増えていきどんどん消費していくから

当然企業は ROE を継続できて、

拡大路線に乗っていけるというのも見ていたのだらうと思います。

そこで「株じゃなくて企業を買う」というのをバフェットはしていたわけで

それがおそらく長期保有できるモチベーションになったのだらう

と思いますよね。

バフェットの食生活はすごく有名で

彼が日本に来た時、ホテルに泊ったら食事は

コーラとハンバーガーが良い、と言ったというのは有名なエピソードです。

そしてここでバフェットは大量のコーラを飲み、

そしてハンバーガーもピクルス抜いた、本当にパンと肉だけの

ハンバーガーをほうばっていたわけですが

これがバフェットの食生活なんですね。

本には「あまり褒められたものではない」と著者の意見が

書かれていたりするんだけど

けどバフェットはもう長生きですから、西洋医学の健康論も

当てにならないかもしれない。

そこでそんだけバフェットは

コーラを「愛している」わけですが

それはコカコーラ株を40年手離さないわけです。

だから徹底的にその企業にほれ込んでいて、恋愛と一緒に

相手の女性にほれ込んでいて「一生添い遂げる」という覚悟があると

思うけど

それに似ていて、そういう株、銘柄だけをバフェットは買っていき  
何十年もガチホするわけですね。

徹底的に惚れた女なら周りがどんなに「あいつ不細工だ」とか  
言っても気にならないものですが、

投資もこれに似ていて惚れこんだ銘柄は一生添い遂げる覚悟  
なわけです。

そしてこれが「投資」なんですね。

「投機」とはここで区別される、といえば  
分かっていますでしょうか。

それでバフェットの資産というのは10兆円前後で  
パークシャーハサウェイのバフェットが経営する会社だと  
60兆円前後といわれますが

まあ大企業ですよ。

日本の代表企業である

トヨタの時価総額が23兆円前後だから、

それを彼1人でほぼやってるような会社が抜いちゃってると。



だからすごいんですけども、

これが「投資」の思想のすごさなんだと思います。

それで、私もこれを真似してたらFXで最初はずっと投機を  
メインでやっていたけど

投資のほうの収益がずいぶん上がってきたのもありまして

「投機も面白いけど投資ってすげえ・・・」ってのが  
最近すごい感じる場所なんですね。

それで投機のFXはまさにカネ儲けメインですから、  
もうあれですよ、とにかくリスクとってリターン取るのがメイン。

けどですね、株は違ってバフェットの考え方で  
やはり世界に役立つ、価値を生成する  
社会に役立つ、民衆の幸せを増幅しそうな企業を買って行って

株価は本当に1週間に1度とかそれ以下で見ないときも  
あるんだけど

1年とか2年経過するとずいぶん増えるものなんですね。

だから投資って面白いな、とか最近ほんと思ひまして。

ちなみに私の親戚の話なんだけど、自営業者の親戚がいて、

彼なんかは私より年上だけど

株とかに関しては先生だと思ってますが

彼はディズニーの株を長く持っている。

昔はおそらく1ドルとかだったはずだけど

いまやディズニー株って100ドルなんだけど

この親戚もまた、バフェット投資していて、資産100倍くらいに

なってるはずなんだけど

すごい稼いでるわけですね。

ただ彼が株買ったのは儲けを主体として最初買ったわけじゃなくて、

ディズニーの株って、まあオリエンタルランドってのがやってるけど

そこが株主優待とかくれるわけですね。

そこで子供や孫にディズニーのチケットが株主優待でもらえるから

そこでディズニーの株はずっと喜んでもらえるから持ってるんだけど、

元から子供や孫を株主優待のディズニーのチケットで喜ばせたい、

それが目的だったんだと思います。

だからずーっと持ってるんですよ。

株価に一喜一憂しないから

たぶんリアルタイムの株価知らない可能性もあります。

数ヶ月に一度見るくらいじゃないでしょうか。

けどそういう目的で株を買う人ってのが儲かるものなんですね。

この辺は本質だと思っていまして、バフェットに近いのかなど。

だからこの企業の株でもそうだし、暗号通貨の ICO でもそうだし、

もし「長期保有の現物投資」をしようとする場合

その銘柄のメッセージとか理念とかあとは

これから社会に還元できる価値はどれほどのものか、とか

そういう抽象的な知識は大事になってくるのだと思います。

結局大多数の人が幸福になるサービスなりを展開した企業が

儲かってそれが株価上昇なり配当にまわっていくわけですから。

だからこういう考え方でなんというか

そのプロジェクトとか企業を「応援する」つもりで

買うとですね、

長期保有もできるだろうし、

まあ社会のためにもそれはなるし、

そして結果としては儲かっていくということなんだろうと

バフェットを見てると分かってくるんです。

ちなみにこういう投資は抽象性が高いから

抽象思考がまだまだであるAIではできないし、

人間にしかできない投資なんですね。

だからAIが狩ろうとしてもAIごときでは刈り取れない。

だからそういう理念とか思想とか、そういうのは

経済事業体においてはすげえ大事なんだ、って話で

バフェットの逸話はとても重要ですね。

コカコーラは健康に悪いなんて立派な人は言うけども

私も時々飲みますし、

子供たちはコカコーラ好きですよ。

赤ん坊でさえコカコーラ飲みますよね。

それってやはりなんだかんだ世界の胃袋支えていますから

価値は発生させてるわけでした

バフェットはそういう企業に投資している、ということです。

だから私の読者さんも投機と投資を両方私みたいに

やってる人も多いただろうけど、

投機しかしていない人は(FX だけの人とか)

投資も混ぜてみるといいと思いますよね。

両方今のうちに経験としてやっておくのが重要です。

特に私は30代だけど今後悔してることがあるとすれば

口座作れる20歳から投資しておけばよかったな、ってことで

今若い大学生とかはとりあえず口座作って、あとは

バフェットの本買って3回くらい読んで彼のやり方をパクって

それで毎月1万円でもいいから買っていくというのを

やっていくと良いと思います。

将来それが大きな資産になる可能性が高い。

(ちなみに株ならバフェット株はマレーシアの市場で

結構多く見つかります。日本株市場はバフェット株の要件を満たす

株式は極めて少ないです。)

なので投資の思想というのはこれはこれですごい深いんだけど

今読者さんが

知っておけば将来につながる考え方でもあると思いますから

今号で書きました。

そして・・・今号は別に株の話だけじゃなくて

暗号通貨やICO でもいえる話でしょうから、

バフェットの考えてる抽象的な部分、思想の部分を理解して

それを応用していく、というのは

おそらく将来につながるのではないかな、と感じますね。

それではまた！

ゆう

追伸・・・ちなみにバフェットは60兆円もの資産を

パークシャーハサウェイで

持っているのに、

なぜ儉約家であるのか？というのも実はこの長期保有

する根拠とつながってる、と

書籍では分析されていなくても気づかないといけない。

コココーラ株が100万円で買って500万円になったら  
人は利益確定したがるものです。

なぜか？ その儲けの400万円が  
リアルに生活費になるからですね。

カネの本質として「人間の生存権とつながってる」という  
~~~~~  
性質があります。  
~~~~~

簡単に言うと「カネがないと食ってけねーよ」です。

食ってくためにカネ必要。

そこで毎月の生活コストをあげた場合、生きるために  
必要な金額は上がるわけだけど

それが上がれば上がるほど、生活費がほしいという心理状態に  
なっていくわけでした

ここで早い利益確定、につながっちゃうんですね。

一方、生活コストを切り詰めていると分かることなんだけど  
別に数字が増えようがあくまで数字という感じで  
それが増えても特に生活が贅沢になるわけでもない、

となればそこで早く利益確定する動機が

脳みそから排除される

んですね。

結果長期保有できるようになる、と私は自分の  
経験と自分の脳内でどういう信号が発生してるのか  
自己分析して分かってきました。

だからどうも

バフェットの儉約精神ってのは実は「儲けるため」なんです。

だから彼は儉約が素晴らしいというわけではなくて  
実際のところ「儲けるための心理状態を持続するために  
儉約してる」と私は分析します。

もっと言うと「人間は気持ちよいこと早く確定したくて  
痛いこと先延ばしにしたいというプロスペクト理論」

というのがある。

この利益確定という作業が多くの人にとって

「気持ちいいこと」であるのは

儲けがすなわち生活費に回って

⇒そこで快樂を発生させるから



なんですね。

これをバフェットは敢えて脳内の信号の

これらの循環を断ち切ってるわけで

そのために質素なまんまで昔3万ドルで買った

家に資産10兆円の投資家が住んでるという現象に

つながるわけです。

だから実はバフェットっていうのは

よく計算されていてその何気ない行動の裏には

心理学も入ってるし、各種思想も入ってるし、

相当深いんですね。

このあたりが分かると自分の投資にも生かせるようになるし

資産は必然的に増えてきますよね。

例えば今使うキャバの5万円があったとします。

けどその5万円は、年利26%で40年間回すと

1万347倍になるんですね。

だからその5万円は40年後には5億円になるんです。

バフェットはいつもこうやって複利で考えるのだけど  
だからその消費のお金をなるべく投資に回そうとするわけですね。

40年後の2058年のじいちゃんになった自分たちから見ると  
若い40年前の自分たちがキャバでもし5万円を使っていたら

「ああ、若いときの俺は投資しておけば5億円になっていた  
その5万円をおねーちゃんに貢いでるな〜

そしてそのおねーちゃんはホストにシャンパン頼んで  
そのカネを使ったのだろう。

なぜ俺は若い頃この複利のすごさをもっと真剣に  
考えなかったんだろう」

みたいに思うかもしれません。

バフェットはそうのように時系列で逆の視点を持つてるはずで  
だから今ある消費にあまりお金をかけるよりは

その分余ったものを投資にバンバン回したほうがお得だ  
と考えるわけですね。

ちなみに私はよく「時間投資」というのを書きます。

例えば、300円の運賃の

満員電車で1時間仕事できない状態で目的地に到着するよりも

タクシーで5000円払って1時間くらいで到着する間に

車の中でビジネスマンとして仕事して、収益が10万円上がる人なら

それ4700円で10万円分の時間を買ったことになるわけです。

ここで時間を買ったことでその投資効果は20倍以上。

ただここで電車代が300円だとしたら

4700円多く払ってるわけだけど

もし全額を投資に回すと仮定すればそれは

上で書いたように40年間で年利26%でも

1万347倍になるから

4700万円の収益がそのタクシー移動で

満員電車移動よりも余剰で発生していないと

損、という考え方も存在するわけです。

また別の発展した考え方として自分のビジネスを持ってる人ならば

一度移動でタクシーを使って余剰の10万円を生み出せるなら

その10万円をすぐ投資すれば4700円を年利で40年間回すよりも  
10万円で40年間回すほうが得だから、

移動時間に最初は投資しておこう、とかそういう

ビジネスと投資を両方できる人の考え方もあります。

たぶんバフェットはこんなことをいつも考えてるのですよ。

だからあの人は道に500円が落ちていたら

それは道に40年先の500万円が落ちてるように

見えるんでしょう。

実際に億万長者のバフェットは

1セントでも落ちていたら拾うらしい。

まあかなり極端かもしれないけどこれが年利を継続的に出せる

投資家の思考としては存在するんですね。

ほんと徹底されてると思いますが、

それくらいバフェットは資産を増やすことにフォーカスして

色々生活スタイルやら株投資の思想やらを組み立てていまして

そこを学べば私たちの将来にも大きくつながってきそうですね。

学べば学ぶほど、世の中にはとんでもない人がいるな～

といつも思います。

それでは！

ゆう